

## ぐるめ散歩

……カレー・エスニック料理……

### カレー工房サイゴン

スパイシーなカレーと自家製ナンをはじめ、市内の畑で自家栽培したパクチーなど狛江産の野菜を豊富に使ったベトナムなどのエスニック料理が楽しめる。

メニューは、カレーをはじめ海老マヨ、パクチー焼き餃子、ピリ辛豆腐などの一品料理やフォー、焼きビーフン、ベトナムうどん(ブンフォー)など数十種類に及ぶ。夏は空心菜炒めやトマト、海老、



カンデルさん(左)と宮元さん

パクチーが入った冷たいフォーなど

☎3488-3828 岩戸南1-2-6  
アイシービル1階 営業=午前11時30分~午後3時/5時~10時30分 月曜日(休日の場合は火曜日) 休み

### 水を加えないスパイシーなカレー 狛江産の野菜使い本場の味



などが人気という。デザートの種類も多く、家族連れや女性に好評だ。

同店は、広幡武社長が日本人の味覚に合ったアジア料理を提供しようと市内に開いた4つの店のひとつ。「カレー工房」の名前通り、ネパール人シェフのサシダル・カ

ンデルさんが、約10時間かけて4店分のカレーを作っている。20種以上の香辛料を使い、水を加えないのが特徴で、サイゴン、バターチキン、ほうれん草、キーマ、豚バラ肉入りハノイの5種類あり、辛さが控えめでマイルドな味わい。

#### ■おすすめMENU■

- ① パクチー焼き餃子 ¥500 / ② 空心菜炒め ¥750 / ③ カリカリチキンの混ぜフォー ¥750 / ④ ランチセットカレー (サイゴンカレー・プレーンナン) ¥800 / フォーとミニカレー set ¥980 / バターチキンカレー ¥600 / プレーンナン ¥350 / 海老マヨ (2個) ¥680 / ベトナムうどん ¥800 (税込み)



### は〜とGoods

やさしい風合い  
牛乳パックを原料にした手すき和紙に押し花をあしらった葉書、大小のポチ袋、封筒、グリーティングカード、一筆箋など9種類の紙製品のほか、厚手の紙パックに千代紙を貼ったカラフルなはしおき、布を裂き織りしたコースターなど、やさしい風合いの製品が人気。押し花は、利用者やスタッフの家で咲いたものを使っている。

狛江市社会福祉協議会が運営する生活介護事業所「麦の穂」を利用している重度知的障がいのある人たちによって作られている。

製品=押し花ハガキ100円、押し花ポチ袋100円、押し花封筒200円、一筆箋5枚100円、織コースター300円、はしおき5個100円 (いずれも税込み)。

麦の穂=元和泉2-35-1あいとぴあセンター3階  
☎3488-8328 営業=月~金曜、午前8時30分~午後5時



### 四季彩彩 多摩川

狛江市の南西を流れる多摩川は、自然豊かな水と緑のオアシスとして多くの人々が散歩や釣りなどに訪れる。写真の二ヶ領宿河原堰付近は多くの鳥や魚の群れが観察できるほか、約130万年前の地層が河原に露出し貝や魚などの化石が見つかる。

写真: メルシー・フォトさん「white and blue tamagawa」(第1回狛江市観光写真コンクール応募作品)

### 3年ぶり多摩川いかだレース 81チームがタイムやデザイン競う



力漕するいかだ。先頭は優勝したハートフルおやじファミリー号

「狛江古代カップ多摩川いかだレース第30回記念大会」(同実行委員会主催)が7月24日(日)に催され、手作りのいかだ81艇がスピードやデザインを競った。当初は17日(日)の予定だったが、開催前に降った雨の影響で1週間延期となった。

このレースは平成2年に始まったが、一昨年は台風による河川敷の被害で、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で2年連続の延期となり、3年ぶりに30回目の開催となった。

### 市内2カ所目、野川におもちゃ病院開院

壊れたおもちゃを直す市内で2番目の「おもちゃ病院」が6月から西野川にオープンした。

「野川おもちゃ病院」(連絡先・大畑恵美子さん)は、野川のえんがわこまち(西野川12-31-1)で毎月、第1日曜日(8月は7日)午前10時から午後4時(受付は午後3時)まで開院。修理を担当するおもちゃドクター数人が現場でおもちゃの故障の具合などを診断し、預かって修理するシステム。

おもちゃ病院は全国的なボランティア組織で、市内では「狛江おもちゃ病院」が平成25年に開設、現在はビン・缶リサイクルセンターで毎月第1・3木曜日に開催し、ドクター12人が修理を担当している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で一時期休診、現在は再開しているが、センターでは壊れたおもちゃの受付のみで、修理はドクターが各自の自宅で行っている。ただ、ドクターによって得意分野が異なるため、コロナ禍前は同じ場所に集まって修理をすることで知識の習得や技術の向上を図るとともに交流を深めてきた。

野川おもちゃ病院はこうした状況を踏まえて、休日に開設することでおもちゃを大切にしている子を増やそうと、野川のえんがわこま치의スタッフで、狛



おもちゃの修理を頼む親子

いかだは12のグループに分かれ、五本松付近から二ヶ領宿河原堰付近まで約1.3kmを下った。初参加のチームも多く、いかだをコントロールするのに苦労しながらも全チームがゴールした。

レースの結果は、企画部門で南生田中学校美術部&南生田パパロール隊コラボ(写真下)が前回に続いて最優秀企画賞を獲得、タイムレース部門ではハートフルおやじファミリー号が10分1秒で優勝した。学生の部は狛江二中弾丸ズ、レディース・ジュニアの部は狛江三小おやじの会ジュニアが優勝した。新設された市内の小・中学校の対抗レースは狛江二中弾丸ズが優勝した。また、30回を記念して、レースの開催に長年貢献した功労者や団体が表彰された。

7連覇を果たしたハートフルおやじファミリー号のメンバーは「中止の間に川の様子が変わってしまった。今日は流れも遅かったので、苦労しました。メンバーが高齢化しているので、もっと練習して連覇を伸ばしたい」と話していた。



江おもちゃ病院のドクターでもある大畑さんが市内のおもちゃドクターに呼びかけて開設が実現した。

修理代は無料だが、部品代が必要な場合は別途。また、会場使用料が必要なため、おもちゃ1個につき100円の寄付を呼びかけている。

問い合わせはショートメールで☎090-4455-1497大畑さん。

### 25日夜に3年ぶりの多摩川灯ろうまつり

多摩川灯ろうまつり(多摩川灯ろうまつり実行委員会主催、狛江市観光協会後援)が25日(日)午後6時30分から多摩水道橋下流の多摩川で催される。

世界平和と環境保全を願い、河川敷を灯ろう数百基を並べるもので、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていたが、3年ぶりに復活する。

灯ろうは1基1,000円で、申し込みを24日(土)まで市内6カ所の寺院で受け付けるほか、会場でも当日午後4時から6時まで受け付ける。雨天の場合は26日(日)に順延。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によって中止する可能性がある。

問い合わせ☎3489-8440圓住院内多摩川灯ろうまつり実行委員会事務局。



河川敷に並んだ灯ろう